

国語科 中学校 2年

単元名 「提案のしかたを工夫しよう プレゼンテーション」
光村図書「国語2」

単元の流れ（全5時間）

【第1次】

主な学習内容

第1時 プレゼンテーションの意味を確認し、テーマ「共通語にしたい方言」の内容・範囲を明らかにし、2人組のグループごとに発表する言葉を決める。

【第2次】

主な学習内容

第2時・第3時 グループで集めた言葉を検討し合い、本やアンケートなどで提案する言葉についての資料を集める。

「活用」の力育成のために

調べるための資料を活用し、発表内容を充実させたり、根拠を明らかにしたりさせる。

活動の様子 [CLICK](#)

【第3次】

主な学習内容

第4時 分かりやすいプレゼンテーションにするための構成を工夫し、フリップなどを準備する。

「活用」の力育成のために

話し合いの中で、相手を意識して自分の考えを表現するとともに、互いの考えを聞く姿勢を育てる。

活動の様子 [CLICK](#)

【第4次】

主な学習内容

第5時 プレゼンテーションを行い、相互評価する。
(本時)

プレゼンテーションの様子 [CLICK](#)

「活用」の力育成のために

互いの工夫した点から学び合わせ、自分のグループの発表を振り返らせる。

相互評価用紙 [CLICK](#)

単元目標

- 伝える目的に応じて、情報を集め整理し、効果的に活用して話す。
- 資料の扱い方や話の構成を工夫して、効果的に伝える。

単元構成の意図

プレゼンテーションの基本的な流れである、資料集め、企画（構成や視覚資料などの工夫）、発表と、相互評価を組み合わせる。

2人組にすることで、聞き手を説得するための表現の工夫をより多角的に考えることができる。

「活用」の力を育てるポイント

- ①調べるための資料と伝えるための資料を十分に活用して作成させ、相手に分かりやすく伝わる方法を相互評価を通して実感させる。
- ②根拠を明確にした説得力のある表現をさせる。
- ③相手を意識して自分の考えを表現させる機会を確保する。
- ④話し合いをさせることにより、互いの考えを聞く姿勢を育て、その中で多面的に思考する力を育成する。
- ⑤プレゼンテーションを相互評価させることにより客観的に批評する姿勢を育成する。

[HOME](#)

評価問題 [CLICK](#)

[本時の流れへ](#)

その他のプレゼンテーションの様子 [CLICK](#)